

ショールーム化した工場で付加価値向上 最新設備と稼働の視認化で稼働率を向上

工作機械部品の製造加工を中心に医療機器部品、食品工場の機械部品等の加工を行っている。繊維メーカーとして創業したが、木工用機械製造業に業種を転換。さらに工作機械部品加工に主軸を移す等、創業から70年、その時代に合った事業に転換している。工作機械部品の加工においても、当初は多ロットで利幅の薄い部品加工をしていたが、社内改革を行い、2016年から、単品・短納期に特化し利益率の高い事業を展開している。

●所在地	広島県府中市鷺飼町743-1
●電話/FAX	0847-45-6300/0847-45-6400
●URL	http://www.utsumi-kikai.co.jp
●代表者	代表取締役 内海 和浩

●設立	1949年
●資本金	4,980万円
●従業員数	13人



工作機械部品の「単品・短納期(3日以内)」加工サービス

工作機械部品加工の現場において、発注漏れや急な設計変更等により単品発注かつ早急な加工が必要な場合が頻繁にあるが、専門に対応できる事業者が見受けられなかった。そこで同社は、単品・超短納期市場を見だし、社内体制を整え、2016年に単品受注で受注後、早い場合即日、遅くとも3日以内に納品する「単品・超短納期」サービスを開始した。納期遅れは企業にとって死活問題で、同社が受皿になることで発注企業のニーズを満たしている。ニッチな分野を極めたことで高付加価値な事業を実現した。



「単品・短納期」加工の加工工程の一部

経営資源を最大に活用することで高付加価値を実現

既存の経営資源を最大化することで「単品・超短納期サービス」(高付加価値化)を実現している。独自の組織体制を構築し、PDCAサイクルを高速回転させ、日々の目標を明確にし、効率良く最終目的(単品・超短納期で生産することで、取引先ニーズに対応)を達成する仕組みを作っている。「単品・超短納期」に絞ったことで、商圏は広くなり、広域に応じた販売促進策(オウンドメディア等)を打つことで新規取引先の拡大に繋がっている。



超短納期を実現させる日々の目標管理

災害時での適切な判断により、被害の最小化の取組を実施

平成30年7月豪雨により工場裏の山から染み込んだ雨水が沸き上がった。避難指示により早期退社、翌日休業等の対応をした。また、従業員の自宅の被災により通常生産に影響が出た。被災後は、生産調整の実施や、被害を受けた従業員への出勤調整等を行い、取引先に影響が出ないように事業を継続した。災害時には近所の土砂の撤去を行い、土砂による汚れを高圧洗浄した。



同社工場の外観